

指定管理者総合評価シート

1 施設の概要

施設名	諸橋轍博士漢学の里	所在地	以下に記載
設置目的	漢学の里の平等な利用を確保し、市民サービスの向上を図るため円滑な運営と適切な施設及び整備の維持管理を行う。		
規模	三條市庭月434番地1 諸橋徹次記念館 生家 遠人村舎 屋外トイレ 敷地内の外構及び植栽 その他の施設	設置年月日	平成17年 5月1日

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	(株)図書館流通センター	指定期間	平成23年4月1日から平成28年3月31日まで			
指定管理業務の内容	施設の管理運営等	指定管理料(千円)	H23	18,049千円	H24	22,521千円
			H25	19,749千円	H26	18,565千円
			H27	18,597千円		
導入効果	<p>① 収支の状況 収支差引については、各年度計画に比べ、毎年度プラスとなっており、経営努力が見受けられる。</p> <p>② 施設の利用状況 大人向けの講座だけでなく、子ども向けの講座も開催するなど、工夫をすることで、利用者数も増加しており、魅力的な展示や企画を提供していることが表れている。</p> <p>③ サービス向上への取組み リピーター割やレシート割を導入するなど用者の増加への努力がみられる。常に利用者の視点に立った親切・丁寧な対応に心掛けている。</p>					

3 総合評価(総括)

管理運営状況評価	最高配点	55 点中	37 点	配点評価	B
評価	<p>収支の状況については安定している。 利用状況は概ね増加しており、安定した水準を維持している。 自主事業については、チェンバロコンサートや漢詩大会、様々な講演会も企画・開催している。 また、リピーター割やレシート割などを企画しており、これらから一定程度の成果があったと思われる。</p>				
今後の方針	管理運営方法の見直し				
	今後の管理形態	指定管理者制度			
	理由	市民に提供しているサービスの質、量、利用者の反応等を総合的に勘案すれば指定管理者制度の効果が表れているものとする。また、概ね事業計画のとおり管理運営が行われており、入館者や貸出者数等も増加している。以上の理由から、指定管理者制度を継続することで、今後も安定した経営・サービスが図られると判断される。			
	指定管理者制度を更新する場合				
	選定方法	非公募			
非公募の場合、その理由					